

福山  
コンサル  
タント



釜石よいさ

## 地元へ活気、祭りなど仕掛け

福山コンサルタントは、本社のある福岡市、東京都など全国から社員を集め、仙台市に常駐して震災復旧・復興業務に当たった。ここ2、3年は調査設計業務は終息に向かい、工事の段階に入り、業務も事業監理、施工監理にシフトしてきている。

岩手県釜石市では、高台移転の事業監理を実施している。防災集団移転事業と漁業集落移転促進事業を同時に行い、用地買収、調査測量設計を進めながら、並行して工事監理を行っている。具体的には南北2つに分かれたブロックのうち北ブロックで、両石、箱崎、箱崎白浜、仮宿の4地区の宅地整備を促進している。

業務実施に当たり、建設コンサルタントとして現場を意識し、肌で感じながら仕事ができているとする。安全・品質・コストなど建設工事について、意識面でも良い経験になったという。これを社内的に周知していくことを今後の課題と位置付ける。

地域の本格的な創生に向けて、被災地に人が戻っていないことを懸念している。人が戻らないことには形を元に戻しても復興には遠く、働く場・雇用の場をつくらなければならないと指摘する。

また同社は、釜石市というフィールドで仕事することを踏まえて、地元の祭りである「釜石よいさ」に出場しており、この夏で3回目の参加となる。地元を活気づかせるイベントや祭りなどを仕掛けていくことが必要と強調し、こうした祭りが国内に限らず海外の人々も呼び込むきっかけづくりになることを期待している。